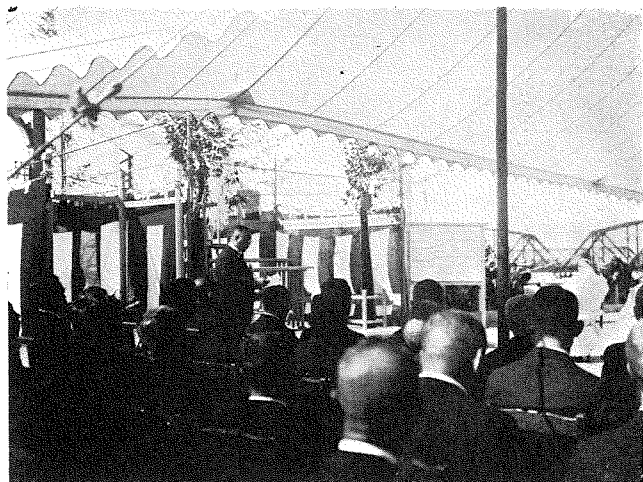


# 尾張大橋

## —開 通 式—



東海第一の橋梁で、近來の大工事であり且つ難工事でもあつた尾張伊勢國境木曾川の尾張大橋は別項の如く此程竣功したので、十一月八日午前十時から、愛知縣海部郡彌富町の同橋東詰で、盛大な開通式が舉行された。此日は彌富町では全町を擧げて祝意を表し、花

火、舞踊、神樂等の餘興を催したが、天氣晴朗で絶好の開通式日和だつたため人出は數萬を數へ近來にない賑ひであつた。

式は神式によつて執行されたが、川越愛知縣土木部長の工事報告、三邊愛知縣知事の式辭、内務大臣（代理勝田參與官）その他來賓の祝辭あり、終つて彌富町の森利左衛門（82）氏一家三夫婦の渡り初めが昔しながらに行はれた。當日の來賓は内務大臣の代理として東京から勝田參與官、内務省から佐藤、永田の兩技師をはじめ、早川三重縣知事、辰馬内務省名古屋土木出張所長その他約 600 名に達した。そうして式の實況は JOCK（名古屋）からラヂオで全國に放送された。

屋張大橋工事に就ては同橋の主任技術者たる愛知縣土木部の田島治身氏から寄稿を得て本誌の第 卷第 號



及第 號に基礎工事のニウマチツクケーション作業に關し詳細に掲載したが、近く川越部長より竣功後の詳細を寄稿される筈である。寫眞は上の左が開通式當日の模様で三邊愛知縣知事が式辭を朗讀してゐる。右は愛知縣土木部長川越篤氏、記者が縣廳の部長室を訪れて撮影させて頂いたのだが、暗い日で、光線が充分でなかつた爲、鮮明を缺くのは申しわけない次第である。下の左は田島治身氏、右は開通式當日橋詰の雑たうである。（11.25、ほし生）

